

令和5年6月29日
福島県農林水産部水産課
福島県水産資源研究所

ホシガレイ稚魚の放流について

ホシガレイ稚魚(全長約10cm)の放流を、下記により実施しますので、お知らせします。

記

1 放流概要

放流日	令和5年7月5日(水)10時00分から
放流尾数	約1万尾
放流場所	松川浦新漁港※(相馬市尾浜松川) ※御製碑のある公園北東側の漁港区域

※天候等により予定が変更となる可能性があります。放流可否等は、当日午前9時以降、福島県水産資源研究所にご確認ください。

2 経緯

福島県では新たな栽培漁業対象種の候補として、ホシガレイの種苗生産や放流技術の開発に取り組んでいます。

本年度のホシガレイ放流尾数は、今回放流する1万尾と5月16日に請戸漁港で放流した4万尾を合わせて合計5万尾となります。放流後は追跡調査により、放流効果を検証してまいります。

また、今回の放流では、福島大学、京都大学等と共同でホシガレイ稚魚の放流後の行動を明らかにするため、一部の稚魚に超音波発信機を装着し放流するバイオテレメトリー調査を実施します。

なお、今回の放流は令和5年度農林水産分野の先端技術展開事業「ICTインフラを用いた効果的な種苗放流による資源の安定化」によって実施されます。

本件問い合わせ先
福島県農林水産部水産課
主幹 後藤勝彌(内線3262)
電話 024-521-7375
福島県水産資源研究所
副所長(兼)種苗研究部長 神山享一
電話 0244-32-0793

ホシガレイについて

ホシガレイは全長約 65 cm、体重約 4 kg まで成長するカレイ科マツカワ属の一種です。

東北太平洋沿岸、瀬戸内海及び九州西部に分布し、東北太平洋沿岸では、福島県と宮城県で多く漁獲されます。成長が早く、単価が高いことから栽培対象種として期待され、震災以前から種苗生産・放流試験が実施されてきました。

福島県と宮城県を合わせた震災前の漁獲量は 7 トン程度でしたが、近年は 20 トン程度であり、大幅に増加しています。

ホシガレイは単価が高く、多様な漁法（さし網、小型底びき網、沖合底びき網）で漁獲されることから、新たな栽培漁業対象種として期待されております。



図 ホシガレイ